

「コミュニティバスの実証運行は？」

柔軟な対応で

今後の見通しは。

町民の夢と希望を運び、町内の主要拠点、交通接続点へのアクセス向上と利便性、町民の社会参加の機会を支援する目的として大きな期待を担い、コミュニティバスの実証運行がスタートします。

そして、平成24年から本格運行が計画され、国の補助などによりコミュニティバスの購入、中央駅前へのバスの発着所の整備などを進め、9月から実施するとの説明であったが、いまだに運行されずバスは車庫に眠ったままです。

■答 中嶋町長
平成21年度購入バスの納期が、受注生産だったため約4カ月かかりました。

地域活性化・生活対策臨時交付金制度を利用して購入したため、全国的に受注がこの時期に集中しました。

納車後も、バスの付属品取り付け、取り扱いの説明、路線・バス停の入力や路線の街路樹の剪定などに時間を要しました。平成22年2月1日から福祉バス5路線のうち2

路線で、購入したバスが運行します。関係交通機関との連携や運行時間・バス停の場所などの課題に対して、

平成24年までの約2年の実証運転期間に柔軟な対応をしたいと考えています。



稲永 信英 議員



実証運行が始まる「コミュニティバス」

「翼」をください

厳しいと思われる

に実施され、次年度より立ち消えとなった「少年の翼」の再実施の検討をお願いするものです。

■答 平松教育長
この事業は町制施行50周年記念事業として実施しました。

現在の須恵町の財政状況の中で、短期間にわずかな生徒を対象とした事業を復活するのは厳しいと思われれます。

教育委員会としては、経済状況が好転したときに、修学旅行に補助金を積んで、近隣国に連れて行けないかと検討しています。

現在、英語圏の先生を2名入れて、生の英語に触れさせる事業を重点的に行っています。

■問

昨年の7月12日に、民間の手により設立した国際交流協会は1年半ほどが経過しました。

その間に、総会・2度の交流パーティー・料理教室等を実施し、町長・教育長をはじめとする特別職と役員職員、議員の皆さん等にもご理解いただいているところです。

また、それに加えて、初級・中級の英語会話の2教室と、中国語会話教室を実施中です。やっとな隣町に追いついたところです。

そこで今回、平成15年



合屋 伸好 議員



2009国際交流の集いin須恵

ここが聞きにくい!

一般質問



答弁中の中嶋町長